

施策評価シート(令和6年度実施施策)

総合計画 体系	政策No.	5	政策名	学びあい未来を拓く人づくり	施策主管課	生涯学習課
	施策No.	5-4	施策名	地域文化の振興	施策主管 課長名	小林 隆浩
関係課	生涯学習課					

## 1. 施策の目的

対象	A 文化財・地域の歴史文化	意図	A 適切に保存され、その価値を損なうことなく活用されている
	B 地域		B 地域の歴史文化に魅力を感じ、保存・継承している
	C 町民		C 地域の歴史文化を学び、その魅力を情報発信している

## 2. 成果指標

2. 成果指標				上段：目標値			下段：実績値	
指標名		単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
①	A 町内文化財の保存・活用事業の件数 （増加）（現状値：H30時点）	件	131	190	190	190	204	207
				126	146	122	169	
②	B 地域の歴史や文化財に親しむ機会を持った方 の人数（増加）（現状値：H30時点）	千人	1.25	1.31	1.38	1.44	1.51	1.57
				1.39	1.86	2.3	3.21	
③	C 町の歴史文化に興味・関心のある町民の割合 （増加）（現状値：H30時点）	%	10.2	12.5	14	15.5	17	18.5
				7.5	9.9	12.5	17.9	
④								

### 3. 指標の分析（成果が向上した、またはしなかった理由）

①	郷土資料館が周知されてきたことにより、歴史資料の活用が着実に広がったことで、目標値を下回ったが実績値は前年度より増加した。
②	向羽黒山城跡整備資料室の入場者が増加したことや、郷土資料館での子供向けの事業や歴史など文化に触れる機会の提供に取り組んだことで、目標値を上回り実績値も前年度より増加した。
③	郷土資料館の情報発信を積極的に行ったことで、郷土資料館の存在が徐々に周知されつつあり、また資料館イベントの回数を増やしたこと等から、興味・関心を持つ方が増加したため、目標値を上回り実績値も前年度より増加した。
④	

#### 4. 課題に対する取組（今年度重点的に取り組んだ課題）

- ・郷土資料館の周知を図るため、町ホームページ、LINE、インスタグラム、新聞報道などにより、展示物やイベントの開催などの情報を積極的に発信した。
- ・向羽黒山城跡保存活用計画策定事業については、専門家等による計画策定委員会を開催し、文化庁との協議等、策定に向けての作業を進めた。
- ・芸術文化については、町総合美術展の開催、公共ホール音楽活性化事業、ジュニア文芸表彰を開催し、町民の芸術や文化に対する関心を高めた。

## 5. 次年度の方向性（施策の方向性と次年度以降重点的に取り組む課題）

郷土の歴史や文化についての調査や研究、資料や記録の保存を積極的に行い、それらの成果を特別展示や歴史講座等で発信していく、という流れを構築していくことが必要である。また、向羽黒山城跡保存活用計画を策定し、今後の向羽黒山城跡の方向性を定める。さらに、令和3年度から毎年開催している公共ホール音楽活性化事業は、プロの演奏家によるコンサートの素晴らしさを実感していただく機会として認知されてきているため、何らかの形で「プロの演奏家によるコンサート」を継続して実施し、芸術文化に対する意識向上を図る必要がある。

6. 施策を構成する事務事業（方向性と次年度以降重点的に取り組む主要な事業）

番号	事業通番	事務事業名	令和6年度決算額 (千円)	最終評価結果			主要事業
				成果の方向性	コストの方向性	今後の方向性	
1	5506	地域文化振興事業	2,557	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
2	16760	遺跡調査・整備事業	3,347	拡充	現状維持	②生産性改善	○
3	16761	文化財保存・活用事業	23,619	拡充	現状維持	②生産性改善	○